

橋梁設計の手引き改定対照表

第6章 上下部接続部、付属物等	5.2 防水層
5.2.1 一般	掲載頁 6-57

新	旧				
<p>5.2 防水層</p> <p>5.2.1 一般</p> <p>床版の耐久性そして橋梁全体の耐久性を向上させることを目的に、舗装を浸透した水を速やかに排水できるように、橋梁全面に防水層を設けるものとする（道示I編,11.3）。</p> <p>床版防水の構成と材料を図5.2.1に示す。防水層の設計、施工、維持管理については、「道路橋床版防水便覧, H19.3, 日本道路協会」等によるものとする。</p> <div data-bbox="350 636 1213 1150" data-label="Diagram"> <p style="text-align: center;">舗 装</p> <p style="text-align: center;">床版防水性能を有する基層(グースアスファルト舗装)</p> <p style="text-align: center;">床 版 防 水</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">床版防水層</th> <th style="text-align: center;">排水設備</th> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>シート系床版防水層</p> <p>(1) 流し貼り型</p> <p>(2) 加熱溶着型</p> <p>(3) 常温粘着型</p> <p>その他の床版防水層</p> <p>複数の防水層材料を組合せたもの等</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>目地材</p> <p>・成型目地材</p> <p>・注入目地材</p> <p>排水資材</p> <p>・導水パイプ</p> <p>・導水帯</p> <p>・水抜き孔</p> <p>・排水ます</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">床 版</p> <p>図 5.2.1 床版防水の構成と材料（道路橋床版防水便覧, 図-6.1.1, H19.3, 日本道路協会）</p> </div>	床版防水層	排水設備	<p>シート系床版防水層</p> <p>(1) 流し貼り型</p> <p>(2) 加熱溶着型</p> <p>(3) 常温粘着型</p> <p>その他の床版防水層</p> <p>複数の防水層材料を組合せたもの等</p>	<p>目地材</p> <p>・成型目地材</p> <p>・注入目地材</p> <p>排水資材</p> <p>・導水パイプ</p> <p>・導水帯</p> <p>・水抜き孔</p> <p>・排水ます</p>	<p>5.2 防水層</p> <p>5.2.1 一般</p> <p>床版の耐久性そして橋梁全体の耐久性を向上させることを目的に、舗装を浸透した水を速やかに排水できるように、橋梁全面に防水層を設けるものとする（道示I編,11.3）。</p> <p>防水層の設計、施工、維持管理については、「道路橋床版防水便覧, H19.3, 日本道路協会」等によるものとする。</p>
床版防水層	排水設備				
<p>シート系床版防水層</p> <p>(1) 流し貼り型</p> <p>(2) 加熱溶着型</p> <p>(3) 常温粘着型</p> <p>その他の床版防水層</p> <p>複数の防水層材料を組合せたもの等</p>	<p>目地材</p> <p>・成型目地材</p> <p>・注入目地材</p> <p>排水資材</p> <p>・導水パイプ</p> <p>・導水帯</p> <p>・水抜き孔</p> <p>・排水ます</p>				

橋梁設計の手引き改定対照表

第 6 章 上下部接続部、付属物等	5.2 防水層
5.2.2 防水工材料の選定	掲載頁 6-57

新	旧
<p>5.2.2 防水工材料の選定</p> <p>新設および補修工事における床版防水層の設計は、以下①②の条件を満足するものの中から、床版の状況、作業時期や作業スペースの制約などの施工条件に適合したものとし、床版防水層の候補が複数となる場合は、経済性を比較検討し、特段の理由がない場合は、最も経済的なものを選定する。</p> <p>①道路橋床版防水便覧の表-4.2.1 等にある基本照査と要領類の確認を満足するものとする。</p> <p>②施工条件に応じて実施する追加照査を同表より適宜選定し、選定した照査項目は満足するものとする。</p> <p>(1) コンクリート系（RC，PC）床版</p> <p>車道部、歩道部ともに、上記の選定方針により、防水工材料を選定する。</p> <p>(2) 鋼床版</p> <p>車道部は、舗装の基層に一般に防水機能を有するグースアスファルトを用いる。グースアスファルト舗装前に、鋼床版のさびを1種ケレンにより除去し、防水効果を有する接着層を設けること。なお、グースアスファルト以外の舗装を用いる場合、上記の選定方針により、防水工材料を選定する。</p> <p>歩道部は、上記の選定方針により、防水工材料を選定する。</p>	<p>5.2.2 防水工材料の選定</p> <p>(1) コンクリート系（RC，PC）床版</p> <p>シート系防水層による全面防水とする。なお、歩道がある場合は、歩車道境界部（RC造）を構築した後に塗膜系防水層による防水工を施す。</p> <p>また、補修の場合で、床版表面に凹凸が生じる場合には、塗膜系防水層を推奨する。</p> <p>(2) 鋼床版</p> <p>舗装の基層に防水機能を有するグースアスファルトを用いる。グースアスファルト舗装前に、鋼床版のさびを1種ケレンにより除去し、防水効果を有する接着層を設けること。なお、歩道がある場合は、歩車道境界部（RC造）を含む歩道の範囲に塗膜系防水層による防水工を施し、歩車道境界部を構築する。</p>

第6章 上下部接続部、付属物等	5.2 防水層
5.3 橋面（歩道部）の構造	掲載頁 6-58

新

5.3 橋面（歩道部）の構造

- (1) 橋梁の歩道部の構造は「セミフラット式（歩道の車道に対する高さ5cm）」を基本とする（第1章5.2）。
- (2) 歩道部の橋面舗装は、アスファルト舗装（密粒度アスコン）を使用する場合、原則として舗装厚3cmとし、車道舗装との厚さ調整が必要な場合は調整コンクリートを使用するものとする。

1) コンクリート系（RC、PC）床版

歩車道境界部を構築した後に防水層を設け、歩車道境界部の側面に防水層を立ち上げて施工する。

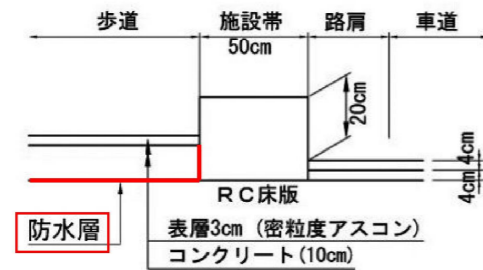


図 5.3.1 歩道部の橋面舗装

2) 鋼床版（地覆等をコンクリート構造とする場合の例）

歩車道境界部（RC造）を含む歩道の範囲に床版防水層を設けた後に、歩車道境界部を構築し、調整コンクリート及びアスファルト舗装を施工する。なお、車道部のグースアスファルトと10~20cm程度重なるように施工する。

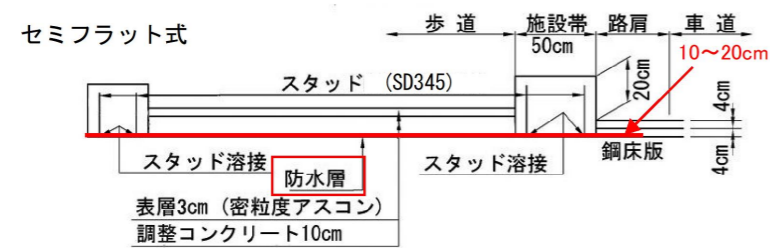


図 5.3.2 鋼床版の歩道部の舗装

旧

5.3 橋面（歩道部）の構造

- (1) 橋梁の歩道部の構造は「セミフラット式（歩道の車道に対する高さ5cm）」を基本とする（第1章5.2）。
- (2) 歩道部の橋面舗装は、アスファルト舗装（密粒度アスコン）を使用する場合、原則として舗装厚3cmとし、車道舗装との厚さ調整が必要な場合は調整コンクリートを使用するものとする。

1) RC床版（PC床版を含む）

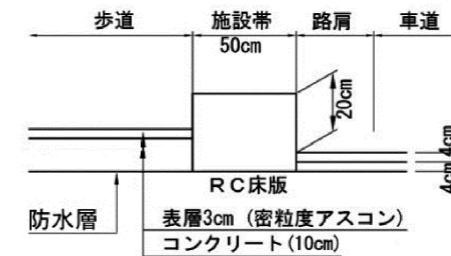


図 5.3.1 歩道部の橋面舗装

2) 鋼床版（地覆等をコンクリート構造とする場合の例）

防水層（塗膜系）を設けた後に、調整コンクリートを打設し、アスファルト舗装を施工する。

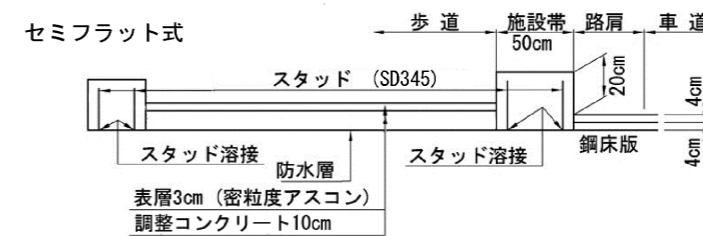


図 5.3.2 鋼床版の歩道部の舗装

第9章 橋梁保全 5. コンクリート構造物の補修・補強
5.3 コンクリート構造物の補修 掲載頁 9-103

新					旧				
表 5.3.2 ひび割れ注入材の選定 (コンクリートのひび割れ調査 補修・補強指針-2022-, 解説表-6.3.1, 日本コンクリート工学協会を基に作成)					表 5.3.2 ひび割れ注入材の選定 (コンクリートのひび割れ調査 補修・補強指針-2013-, 解説表-6.3.1, H25.8, 日本コンクリート工学協会を基に作成)				
ひび割れ 進行度区分	ひび割れ幅 (mm)	ひび割れ部の処理		被 覆	ひび割れ 進行度区分	ひび割れ幅 (mm)	ひび割れ部の処理		被 覆
		注 入	充 填				注 入	充 填	
ひび割れが 進行している	0.2~5.0	エポキシ樹脂 注入材 3種	—	柔軟形厚膜被覆	ひび割れが 進行している	0.2~0.5	エポキシ樹脂 注入材 3種	—	柔軟形厚膜被覆
	5.0<	—	シーラント			5.0以上	—	シーラント	
ひび割れの 進行がとまった	0.2~5.0	エポキシ樹脂 注入材 2種	—	柔軟形被覆	ひび割れの 進行がとまった	0.2~0.5	エポキシ樹脂 注入材 2種	—	柔軟形被覆
		エポキシ樹脂 注入材 1種	—	硬質形被覆			エポキシ樹脂 注入材 1種	—	硬質形被覆
	5.0<	—	シーラント	柔軟形被覆	5.0以上	—	シーラント	柔軟形被覆	
		—	ポリマーセメント	硬質形被覆		—	ポリマーセメント	硬質形被覆	

第9章 橋梁保全 5. コンクリート構造物の補修・補強	
5.3 コンクリート構造物の補修	掲載頁 9-104

新

鉄筋が腐食している場合は図 5.3.6 のようにはつって劣化部分を除去する。

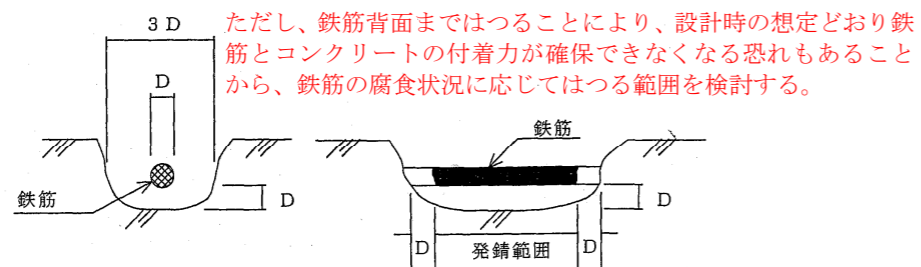


図 5.3.6 鉄筋が腐食している場合のはつり範囲の例

旧

鉄筋が腐食している場合は図 5.3.6 のようにはつって劣化部分を除去する。

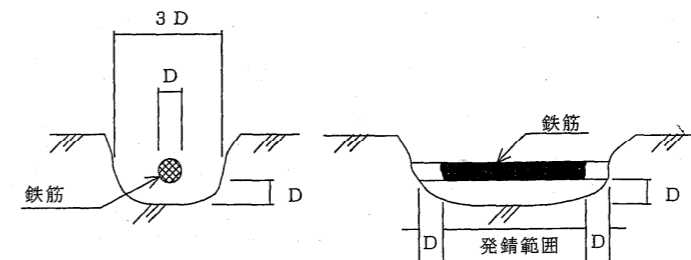


図 5.3.6 鉄筋が腐食している場合のはつり範囲の例